

令和 7 年(2025 年) 第 1 回

登録標識・路面標示基幹技能者講習(路面標示)

修了試験問題

修了試験実施日：令和 7 年(2025 年)7 月 18 日

修了試験実施場所：富士教育訓練センター

登録基幹技能者講習実施機関：一般社団法人全国道路標識・標示業協会

注意事項

- ① 携帯電話は電源を切り、カバンの中に入れてください。
- ② 試験問題は係員の指示があるまで開けないでください。
- ③ 解答用紙に受講番号と氏名を明記してください。
- ④ 正解と思う番号を解答用紙に記入してください。
- ⑤ 試験開始から 30 分が経過するまで及び試験終了 10 分前から終了時刻までは退出することができません。
- ⑥ 質問、体調不良、退室希望等は静かに挙手をしてください。
- ⑦ 試験問題は終了後に持ち帰ることができます。
- ⑧ 試験終了の合図があったら筆記用具を置き係員の指示に従ってください。
- ⑨ 解答は試験終了後約 1 週間後に全標協ホームページに掲載します。
- ⑩ 合格発表は令和 7 年(2025 年)8 月 29 日に全標協ホームページに掲載します。

一般社団法人全国道路標識・標示業協会

【基幹技能者一般知識】

問 1

登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 登録基幹技能者は、国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する技能者講習を修了することにより認められる。
- ② 登録基幹技能者講習の受講資格要件は、専門工事業 10 年以上の実務経験、3 年以上の職長経験等である。
- ③ 登録基幹技能者の資格は、3 年ごとの更新によって能力水準の確保に努めなければならない。
- ④ 登録基幹技能者は、主任技術者として認められ、経営事項審査での加点、総合評価落札方式での評価等がある。

問 2

建設キャリアアップシステム(以下 CCUS)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 技能者の能力評価は 4 段階で評価され、登録基幹技能者はレベル 4 に位置付けられている。
- ② 登録基幹技能者は、CCUS に自動的にレベル 4 として登録される。
- ③ 技能者は、CCUS 情報を活用した能力評価とレベルごとの年収目安の明確化による賃金水準の相場感の形成が図れる。
- ④ CCUS の活用により技能者の現場における就業履歴や保有資格などを蓄積することにより処遇の改善や技能の研鑽を図ることを目指す。

問 3

登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 安全管理に係る基本的な知識を有し、法定点検を行うことができる。
- ② 他職種との折衝、調整を行い、工事の円滑化を図るとともに、部下の指導、教育を計画的に行うことができる。
- ③ 品質管理に係る基本的な知識を有し、工事工程表に基づき工程の進捗管理を行うことができる。
- ④ 原価管理に係る基本的な知識を有し、常にコスト意識をもって行動することができる。

問 4

OJT に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① OJT は、上司の仕事そのものであるとの認識のもとに行う。
- ② OJT は、教育訓練計画を策定し、個別に指導することを基本とする。
- ③ OJT は部下の能力レベルに合わせた目標を立てることが大切である。
- ④ 登録基幹技能者の指導次第で、仕事の能率や部下の成長の仕方も違ってくが、大切なことは指示どおりにやらせることである。

問 5

働き方改革に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 残業時間は、原則として月 40 時間かつ年 360 時間を上限とするが、特別な事情がある場合は上限を超えることができる。
- ② 年 10 日以上の有給休暇が付与される者は、5 日以上の取得が義務付けられている。
- ③ 大企業に求められていた月 60 時間超の残業割増賃金率 50%が、中小企業に対しても適用される。
- ④ 同一企業内において、正社員と非正規社員の間で、基本給や賞与などあらゆる不合理な待遇差を設けることは禁止されている。

問 6

作業員の遵守義務に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 安全衛生教育を行う義務
- ② 安全状態を保つ義務
- ③ 保護具の着用・使用義務
- ④ 危険行動の禁止義務

問 7

道路法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 令和 7 年改正において、道路の脱炭素化の推進や道路網の整備に関する基本理念が創設された。
- ② 道路管理者は、道路の構造を保全し、又は交通の危険を防止するため、区間を定めて、道路の通行を禁止し、又は制限することができる。
- ③ 重要物流道路では、構造上支障がないと認められた区間は、国際海上コンテナ車(40 フィート背高)の特殊車両通行許可手続きが不要となっている。
- ④ 都道府県公安委員会は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。

問 8

道路交通法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 道路法に規定する道路は、道路交通法の対象となる。
- ② 道路運送法に規定する自動車道は、道路交通法の対象となる。
- ③ 全ての私道は、道路交通法の対象とならない。
- ④ 林道は、道路交通法の対象となる。

問 9

標識令の変遷に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 昭和 38 年、規制標識は国連標識に準じた全面的な改正を行い、色彩、形状、記号によって表示することとした。
- ② 昭和 45 年、規制標示の種類は当初 15 種類であったが、交通量と交通事故の増大に対応するため 13 様式が追加された。
- ③ 平成 4 年、横断歩道標示の側線の無い標示が追加され、同時に二本線による表示と道路鉤による表示は削除された。
- ④ 令和 5 年、規制標識「自転車一方通行(326 の 2-A・B)」は、「特例特定小型原動機付自転車・自転車一方通行(326 の 2-A・B)」に改められた。

問 10

標識令の変遷に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 令和 4 年、遠隔操作型小型車が歩行者と同様の交通ルールが適用されることとなったため、補助標識に「遠隔操作型小型車(503 の 2)」が追加された。
- ② 令和 6 年、信号機の無い横断歩道は、道路標示及び道路標識の設置が必要であったが、交差点内の内側の横断歩道標識及び一時停止標識が設置されている場合は、横断歩道標識の設置を省略できることとなった。
- ③ 令和 6 年、これまで横断歩道標示は 45cm～50cm とされていた白線の設置間隔を 135cm まで拡大することが可能となった。
- ④ 令和 8 年 9 月、中央線等が設置されていない生活道路の法定速度は時速 30km になる予定である。

問 11

安全で快適な自転車利用ガイドラインに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 自転車活用法では、地方公共団体は「市町村自転車活用推進計画」を立案し、「自転車ネットワーク計画」を位置づけることとしている。
- ② 自転車道、自転車専用通行帯及び車道混在には、規制標示「特例特定小型原動機付自転車・普通自転車歩道通行部分(114 の 3)」の自転車ピクトグラムを設置するものとする。
- ③ 自転車専用通行帯の整備完了後は、従前の歩道の「特例特定小型原動機付自転車・普通自転車歩道通行可」の交通規制を解除するものとする。
- ④ 規制標識「普通自転車専用通行帯(327 の 4 の 2)」を設置する場合は、始点標識に規制標示「専用通行帯(109 の 6)」を併設するものとする。

【施工管理・環境保全対策・作業計画・工程管理】

問 12

施工管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 建設工事は現地生産のため、現場での社会的制約を受けることとなる。
- ② 建設工事は現場の自然現象や敷地条件、周辺の状態など、十分に事前調査を実施することが重要である。
- ③ 品質管理計画は、施工計画の中でも重要な根幹的計画であり、工程管理の基となる重要な計画である。
- ④ 適切に施工管理を行うためには、計画(Plan)、実施(Do)、検討(Check)、処置(Action)の 4 段階のサイクルを繰り返し実行することが基本となる。

問 13

環境保全に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 建設廃棄物には、建設発生土が含まれる。
- ② マニフェスト制度とは、排出事業者が収集運搬業者、処分業者に委託した産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄の防止等適正な処理を確保するための制度である。
- ③ 振動・騒音の対策には、大きく分けて(1)発生源での対策、(2)伝搬経路での対策、(3)受振点・受音点での対策 の3つであり、対策の基本は発生源での対策である。
- ④ 建設現場では、元請が排出業者となり、元請は産業廃棄物処理業者と産業廃棄物の処理に関し、委託契約を結ぶ。

問 14

作業計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 施工要領書は、施工上の問題を工事の進捗につれてどのように対処すべきかを事前に検討した上で作成する。作成した施工要領書は元請の工事担当者に提出し、承諾を受けること。
- ② 作業手順書の作成にあたっては、できるだけわかりやすく、具体的な表現とし、「～しない」というような明確な言葉を用いる。
- ③ 作業手順書は誰がやっても「基準通り」に同じ結果が得られるものであり、新入社員や未熟練作業員に、仕事を「安全で、正確に、早く」教えるために必要なものである。
- ④ 作業上、手戻りが生じたり、不具合が生じたりした場合は、作業手順書を見直し、その原因となった部分を改善する。

問 15

工程管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 工程計画の直接の目的は、工期内の完成である。
- ② 作業可能日数の算定は、暦日による日数から、休日、天候その他に基づく作業不能日数を差し引いて推定する。
- ③ バーチャートは縦軸に工事を構成する部分作業(部分工事)、横軸に工期(日数)を取り、バー(棒)の長さで作業日数を表した図表である。
- ④ 斜線式工程表は、縦軸に各作業の出来高比率(%)をとり、横軸に工期をとって、工種ごとの工程を斜線で表した図表である。

【原価管理】

問 16

原価管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 会社には、「見積原価の管理」「実行予算の作成」「予算実績管理」という 3 つの原価管理のポイントがある。
- ② 「見積り」とは、受注側が発注側に「仕事をしたら払ってくださいね」という売値を決めること、又は売値を記した書類(見積書)を指す。
- ③ 「実行予算」(工事予算ともいう)は、受注前に、各種の具体的な施工計画を立て、その工事を実行するのに必要な費用をできるだけ精密に予測・算出して作成する。
- ④ 「予算実績管理」は、実行予算を枠組みとして、資機材の発注や労務を管理し、予算内に収めるよう行うものである。

【品質管理】

問 17

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 品質という用語は、ISO 規格により「本来備わっている特性の集まりが、要求条件を満たす程度」と定義されている。
- ② 設計品質の内容、決め方には、「仕様規定」と「性能規定」と呼ばれる 2 つの考え方がある。
- ③ 「段取り八分」とは、仕事の段取りをキッチリしておけば、その仕事は 8 割完了したも同然であるという意味である。
- ④ 重要品質項目に則して、総合工事業者は「施工計画書」や「作業標準書」で施工の具体的な方法を計画する。

問 18

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 管理図とは、品質上問題となっている特性(結果)とそれに関係する要因(原因)の因果関係を魚の骨のような形に整理するものである。
- ② パレート図とは、品質問題に関わる要因について発生度数の高い順に並べ、それぞれの頻度をヒストグラムで、その累積の発生頻度を折れ線グラフで表現した図である。
- ③ ヒストグラムとは、チェックシート等で得られた要因の発生状況を棒グラフにしたもので、平均値や標準偏差(結果のばらつきの程度)を図に書き込み、ばらつきの状況の評価に用いる。
- ④ 散布図とは関連があると思われる 2 つの要因(例:コンクリート打設時の気温とコンクリート圧縮強度の関係)を縦軸と横軸にとって打点した図である。

【安全管理】

問 19

安全管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① WBGT の値は、暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数である。
- ② 通風が悪い高温多湿作業場所での散水については、散水後の湿度の上昇に注意する。
- ③ 加齢や疾患によって、脱水症状であっても自覚症状に乏しい場合があることに留意する。
- ④ 梅雨から夏季になる時期において、気温が急上昇した高温多湿作業場所で作業する場合、通常、作業員は熱に順化していることに注意する。

問 20

安全対策に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 労働集約型の建設業は、装置産業型の製造業より安全対策が難しいが、その理由の一つは、作業内容が日々変化することである。
- ② いわゆる突貫工事のような工期が非常に厳しい場合、現場全体が工期を守ることを最優先させ、不安全行動やむなしというようなムードになることがある。これが集団欠陥である。
- ③ ヒューマンエラーの防止対策は、作業員にエラーをしないように指導することが中心となる。
- ④ 外国人労働者のための安全衛生教育等点検の内容は、(1)安全衛生教育の実施、(2)作業手順の理解、(3)指示・合図の理解、(4)標識・掲示の理解、(5)免許・資格の所持の 5 項目である。

問 21

路面標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示の設置根拠は、「道路法」及び「道路交通法」などに規定されている。
- ② 路面標示は、一定の様式化された線及び文字、記号を路面に設置することにより、交通の安全と円滑を確保し、併せて道路構造物等の保全を図るために設けることを目的としている。
- ③ 路面標示は大別して区画線と道路標示からなり、区画線は主として都道府県公安委員会が、道路標示は道路管理者がそれぞれ設置する。
- ④ 法令に定められていない法定外表示は、交通事故防止上有効であるなどの理由で設置される表示で、「止まれ」文字表示、「交差点クロスマーク」表示などがある。

問 22

路面標示の種類に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「停止線」は指示標示である。
- ② 「横断歩道」は指示標示である。
- ③ 「路上駐車場」は区画線である。
- ④ 「右左折の方法」は指示標示である。

問 23

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「車道中央線(101)」は、1 車線道路には設置しない。車道幅 5.5m以上の多車線(2車線以上)道路には原則として設置する。
- ② 道路構造令による車道構成諸元によると、第3種1級(普通道路)の車線幅員は3.0mである。
- ③ 道路は、歩行者、自転車、自動車の区分が構造上分離できない場合は、路面標示による分離を図るのが効果的である。
- ④ 路面標示は、交通運用と密接な関係があり、交通をどのように運用するかを十分に考慮して設計しなければならない。

問 24

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 信号交差点では、原付、二輪車等の事故を防ぐために、二段停止線を設置することができる。
- ② 「横断歩道(201)」は、バス停留所付近では、利用者の利便性を考慮して、なるべく直前又は直後に設置する。
- ③ 交差点部においては、付加車線、特に右折車線は積極的に設置すべきである。
- ④ 「横断歩道(201)」の設置は、できるだけ車道に直角に設ける方がよいが、歩行者の流れの方向によっては斜めでもよい。

問 25

区画線に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「車線境界線(102)」(破線)の長さは、標識令の規定では、3.0m～10.0m である。
- ② 「車道外側線(103)」の幅は、設計速度が時速 80km 以上の自動車専用道路では 0.20mである。
- ③ 「車道中央線(101)」(実線 1 本)の都市部の道路での標準値の幅は、0.15mである。
- ④ 「歩行者横断指導線(104)」は、一般に実線又は道路鋲等により表示する。

問 26

道路標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 標識標示主義とは、道路標識又は道路標示によって示すことを原則とし、道路標識、道路標示による規制が法定の規制に優先して適用される。
- ② 「進路変更禁止(102 の 2)」を設ける場合は、道路標識と道路標示双方を設置する。
- ③ 「路側帯(108)」の幅は線の内側から路端までとする。幅員は、原則として 1.5 m以上とする。
- ④ 規制区間内に道路標識と道路標示を併設する場合は、できるだけ道路標識と交互になるよう設置する。

問 27

道路標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 横断歩道に接して「自転車横断帯(201 の 3)」を設置する場合は、横断歩道との間は 3cm の間隔を空けるものとする。
- ② 「横断歩道又は自転車横断帯あり(210)」は、道路標識により車両が一時停止することが指定されている場所等は、設置を省略することができる。
- ③ 「斜め横断可(201 の 2)」は、歩行者がスクランブル信号制御交差点において斜めに横断できることを指定した場所に設置する。
- ④ 路面電車の停留場に島状の施設がない場合、「路面電車停留場(209)」を設置する。幅及び長さは停留場の形状によって変更できる。

【路面標示の材料・施工】

問 28

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に必要な機能に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 昼夜問わず晴天時に限り識別・視認できる機能を有する。
- ② 耐久性と速乾性に優れている。
- ③ 車両、歩行者の通行を安全に保つ。
- ④ 施工が容易で安全なものであること。

問 29

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)の適用に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示は、道路条件や交通条件及び環境条件などを考慮し、効果的な材料を選び施工することが肝要である。
- ② 1 種(常温式)は、交通量が比較的少ない道路の車道中央線、車道外側線及び垂直面などに適している。
- ③ 2 種(加熱式)は、高速道路の車道中央線、車線境界線及び車道外側線に適し、積雪寒冷地にも適する。
- ④ 3 種(熔融式)は、通行量が比較的多い道路の車道中央線、車線境界線及び車道外側線などに適し、縁石等への施工も適している。

問 30

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 1 種(常温)塗料及び 2 種(加熱)塗料は液体塗料であり、水を揮発成分とする【A】、有機化合物を揮発成分とする【B】がある。
- ② 1 種(常温)塗料及び 2 種(加熱)塗料は、充填材として「酸化チタン」を使用し、塗膜に厚みをつける効果がある。
- ③ 1 種(常温)塗料及び 2 種(加熱)塗料のタイヤ付着性は、1 種は 15 分以内、2 種は 10 分以内でタイヤに付着しない塗料の品質となっており、その乾燥時間を含めて施工性を考慮する。
- ④ 1 種(常温)塗料及び 2 種(加熱)塗料の白色における拡散反射率は 80%以上である。

問 31

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 3 種(熔融)塗料は、使用時に加熱熔融して用いる粉体状塗料である。
- ② 3 種 1 号(熔融)塗料のガラスビーズの含有量は 20%～23%である。
- ③ 3 種(熔融)白色塗料の拡散反射率は 75%以上である。
- ④ 3 種(熔融)塗料の黄色度は、白色塗料の変色度合いを判定する基準である。

問 32

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)の視認性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① ガラスビーズの粒度分布は、視認性に影響を与える。
- ② ガラスビーズの散布量が多いほど視認性が向上する。
- ③ 3 種(熔融)の夜間反射性能については、反射輝度及び視認可能距離などに関する規格はないが、100m手前から見えることが望ましい。
- ④ 高視認性路面標示は、雨天時の夜間においても良好な視認性を保ち、かつ経済的で耐久性のある路面標示である。

問 33

路面標示用ガラスビーズ(JIS R 3301:2014)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 再帰反射はガラスビーズが透明で球形のときに得られる特性であり、だ円、鋭角、不透明、異物等の混入率は、10%以下と規定されている。
- ② 路面標示用ガラスビーズの鉛含有量は 200mg/kg 以下に規定されている。
- ③ JIS 規格の路面標示用ガラスビーズの屈折率の規定は、1.50～1.64 である。
- ④ 耐水性の低いガラスビーズは表面に曇りが生じやすく、再帰反射効果に影響を与える。

問 34

路面標示塗料(JIS K 5665:2018)の常温式及び加熱式工法における塗膜の欠陥と対策に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 変色する場合があるので長期保管した材料は使用しない。
- ② 膨れを防ぐため適正温度で施工する。
- ③ 膨れの原因は、ペイントが表面乾燥に時間がかかってしまう場合に発生する。
- ④ 新設アスファルト舗装で路面が軟弱な場合は、供用 2 週間後に施工するのが好ましい。

問 35

路面標示塗料(JIS K 5665:2018)の熔融式工法における塗膜の欠陥と対策に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 表面の仕上がりで発生する縦すじは、スリットの摩耗による傷などが原因である。
- ② 表面の仕上がりで発生する横すじは、路面の凹凸が原因であるため、対策できない。
- ③ クラックの発生を防ぐため、環境や条件に適した塗料を使用する。
- ④ ピンホールが発生する主な原因は、路面から上昇する水蒸気である。

問 36

路面標示の消去に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示の消去は、作業時の騒音、振動、粉塵の発生などの問題もあるため、路面の状況、道路環境、工費等を考慮して工法を選択する。
- ② 切削法は、路面標示をアスファルト等と一緒に切削してしまうので路面を傷め廃材が大量に発生してしまう。
- ③ ブラスト法は、鋼粒や珪砂を路面に吹き付け路面標示を消去する工法で、凹凸が多い路面、小規模の消去に向いている工法である。
- ④ 水圧法は、消去と同時に発生処理材を同時に回収できるため効率的だが、設備が大型で作業帯を広く確保する必要がある。

問 37

路面標示の検査に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 施工した路面標示が仕様を満足するものであるかどうか検査を行い判定する。
- ② 出来形の検査は、幅、延長、厚みなどの施工量のほか、レイアウトの全体的調和を重視する。
- ③ 塗膜厚の検査は、熔融式の場合、施工前に金属板に塗布し塗膜厚を計測する。
- ④ 路面標示の点検項目として、剥離、汚れなどによる滑り止め効果の低下などがある。

問 38

路面標示の塗り替え基準に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 目視評価ランク 1 の評価内容は「健全」であり、標示全体が維持されており、摩耗が少なく、剥離が見られない状態である。
- ② 最新の区画線診断には AI 等が活用されている。
- ③ 海外における塗替え基準は「反射輝度」であるが、日本では「剥離率」としている。
- ④ 路面標示の摩耗は「交通量別」「舗装種類別」「大型車混入率」等が関連する。

問 39

法定外表示等に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「止まれ」文字表示は、法定外表示である。
- ② 「減速マーク」は減速を促すための表示であり、減速の理由についての文字表示をマークの手前に設置するとより効果が高い。
- ③ 「ハンプ路面表示」は、車両進行方向のハンプすりつけ部に配置することとし、相互通行道路では車線の中央寄りに路面表示を設置する。
- ④ 自転車道や車道等で自転車が通行すべき部分については、必要に応じて自転車のピクトグラム、矢羽根型路面表示及びカラー舗装を用いる。

問 40

法定外表示等に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① バスレーンのカラー舗装は、一般ドライバーにバスレーン内への進入を抑制する等、交通事故の防止を目的として原則茶色で設置する。
- ② 歩行者等保護のためのカラー舗装で、通学路における路側帯は原則緑色で設置する。
- ③ 「普通自転車専用通行帯」のカラー舗装は、原則青色で設置する。
- ④ 「進路変更禁止」の予告表示は、原則白色で設置する。

問題は以上です

登録標識・路面標示基幹技能者講習 解答用紙

2025-1路面標示

受講番号

氏名

共通は標識にリンク

【基幹技能者一般知識】

1	2	3	4
3	2	1	4

【建設業法・安衛法】

5	6
1	1

【道路法・道路交通法】

7	8
4	3

/8

【標識令改正】

9	10	11
4	3	2

【施工管理・環境保全対策・作業計画・工程管理】

12	13	14	15
3	1	2	4

/7

【原価管理】

16
3

【品質管理】

17	18
4	1

【安全管理】

19	20
4	3

/5

共通 合計

/20

【路面標示の設置】

21	22	23	24	25	26	27
3	4	2	2	3	2	1

/7

【道路標示の材料・施工】

28	29	30	31	32	33	34
1	4	2	2	2	1	3

/7

【路面標示の維持管理・塗り替え基準】

35	36	37	38
2	3	4	1

【法定外表示の設置等】

39	40
3	4

/6

専門 合計

/20